

令和元年度寄附金活用実績報告書

事業名	こどもおなか一杯便事業
寄附受入額	1,860,500円
事業内容 (いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	<p>北川副小学校に子どもを通わせる世帯で、就学支援等を受給している生活が困難な家庭に2か月に1回(偶数月)の第三土曜日に食料品10キロ程度を北川副小学校のコミュニティルームで、活動に賛同いただいていた地域の方と一っしょに梱包作業し、運送事業者に配送を依頼し、実施した。</p> <p>また、北川副小学校で実践されているユニバーサルデザイン教育を保護者・地域への浸透に努めることを目的として学習会を開催した。</p> <p>令和元年度の実績について</p> <p>①支援希望者の募集 学校を通じておなか一杯便の募集チラシを配布し、インターネットで希望者を募集した。</p> <p>②令和元(平成31)年度の配送月 4月、6月、8月、10月、12月、1月、2月の計7回</p> <p>③配送した世帯数 4月～8月 13世帯 10月～2月 12世帯 延べ87世帯</p> <p>④食料品等の手配 食料品は、校区内のスーパー(栄玉)及び菓子メーカー(大坪製菓)から購入した。 NPO(おてらおやつクラブ)からのお菓子等お供え物の寄付いただいた。 校区内の日枝神社で地域の方が田植えされた米の寄付いただいた。 12月にこども宅食応援団を通じてLEGO社からLEGOブロックを寄付していただいた。</p> <p>⑤食料の配送 支援を希望される方の心情を考慮し、運送事業者による配送を依頼した。</p> <p>⑥こども宅食応援団との連携 こども宅食を全国展開するために立ち上がったこども宅食応援団から資金やノウハウの援助を受けるとともに全国フォーラムで事例発表を行い、連携を深めた。</p> <p>⑦利用希望に関するアンケート実施 北川副小学校に子どもを通わせる就学援助受給世帯(120世帯)を対象に利用に関するアンケートを実施(回答40世帯)し、非常に利用したいと回答のあった17世帯に令和2年度の利用について意向確認を行った。</p> <p>⑧北川副小学校ユニバーサルデザイン教育学習会の開催 12月7日(土)にユニバーサルデザイン教育学習会(みんなの学校上映会)を実施した。 午前中5,6年生対象に北川副小学校コミュニティルームで開催した。参加者200人 午後から保護者・地域の方対象に北川副公民館で開催した。参加者70人</p>
事業実施の成果・効果(見込み)	

おなか一杯便を実施し、地域の各種団体（自治会、民生・児童委員会、PTA）から援助・協力を得ることができ、地域で孤立しがちな困窮家庭に手を差し伸べ、地域全体で困っている子どもたちを支援するという機運を醸成できた。

ボランティアで来てもらっている保護者と一緒に子どもたちも配送作業の手伝いに来てくれており、将来の支援活動についての種まきになっている。

また、他地域の団体と交流・連携することで新たな支援等も受けられるようになり、活動の幅が広がってきている。

ユニバーサルデザイン教育に関する学習会を実施し、困り感を持っている子どもに関わるためには、保護者、地域が変わることで必要であり、周りが変わることによって学校のユニバーサルデザイン教育が進むことを理解することができた。今後も引き続き保護者や地域に対して発信し続けることが必要である。

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		こどもおなか一杯便事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	1,860,500	
	寄付金	62,270	
	負担金	30,000	UD 教育学習会小学校 PTA 負担分
	預金利子	9	
	他団体助成金	403,800	こども宅食応援団
	前年度繰越金	1,072,674	
	収入 計	3,429,253	
支 出	消耗品費	24,153	食糧支援用
	食料品費	306,200	食料支援用
	配送費	56,952	食糧支援用
	食糧費	3,900	返礼品撮影用
	賃借料	60,440	DVD レンタル料
	郵送料	140	こども宅食応援団契約書郵送用
	報償費	40,220	図書カードNEXT(アンケート謝礼用)
	備品購入費	97,200	パソコン
	返礼品の調達に係る費用	331,711	
	返礼品の送付に係る費用	117,016	
	返礼品発注業務委託料	155,194	
	事務に係る費用	766	振込手数料
次年度繰越金	2,235,361		
支出 計	3,429,253		

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。